

国際会議から

国際電気接点会議2014

この会議は電気接点に関する国際会議で、1961年から2年おきに開かれています。電気接点という言葉はあまり耳慣れないかもしれませんが、鉄道にも多くの電気接点があります。たとえば、架線/パンタグラフや車輪/レールの接点や、信号や電車の制御に多く使われているリレーも電気接点です。今回、筆者はパンタグラフすり板の局部摩擦現象について発表してきました。

会議のセッションは、基礎理論、材料、信頼性評価、しゅう動接点など多岐にわたります。具体的な応用先は、リレーの接点や自動車用小型DCモーターのブラシなど比較的小さな電流の接点が主で、参加者は大学関係者、リレー・ブラシメーカーなどが主でした。次回は2年後の2016年6月にイギリスのエジンバラで開催されます。なお、2022



久保田喜雄
材料技術研究部
摩擦材料研究室
副主任研究員

年には日本での開催が予定されています。

開催地のドレスデンはドイツの東端にある観光都市で、陶磁器で有名なマイセンがそばにあります。ドレスデンは「エルベ川のフィレンツェ」とも呼ばれ、会議は市内を流れるエルベ川沿いで行われました。左下の写真は市内で最も高い聖母教会の屋上から会議場の方角を撮ったものです。



会議場周辺(聖母教会屋上より)

正式名称：The 27th International Conference on Electrical Contacts
開催国：ドイツ(ドレスデン)
期間：2014/06/22-26
主催：VDE e.V.(持ち回り)
開催頻度：1回/2年
次回開催予定：2016年6月 イギリス(エジンバラ)
ホームページURL：<http://conference.vde.com/icec2014/Pages/default.aspx>